

令和8年(2026年)度 伊那北高等学校 評価表

教育目標		中・長期的目標							
1 平和を希求し、真理と正義を探究する資質を養う 2 躍如として学業にいそむ 3 自主・自立の精神を養い、個性の伸長をはかる 4 自由と責任を重んじ、努力を惜しまない態度を養う		1 学習・部活動などに主体的に取り組み、将来を自ら切り拓く力をもった生徒の育成をめざす。 2 地域の実情、要望を正しく理解し、伊那北高校の将来を見据えて施設・設備を含めたビジョンを明らかにする。		重点目標 1 いじめ・体罰のない安心安全な教育環境を整え、一人一人が輝けるように支援する 2 チーム伊那北として「3つの方針」に沿った授業実践と教育課程の進化をめざす 3 地域社会と協働し、持続可能な社会・学校づくりをめざす					
領域	対象	重点目標	評価項目	評価の観点	具体的方法	主な評価の材料	成果と課題	改善策・向上策	関係校務分掌
教育活動	進路・学習に関わる指導	2 3	進路意識の醸成	生徒自らが探究活動を進める中で課題を見つけ、その課題に対してアプローチすることで進路に対する意識を高める機会を設定し、情報発信・共有を生徒・家庭とすることができたか。	・総合的な探究の時間、学際探究、理数探究基礎、理数探究、生徒会活動、部活動等の学校活動において、生徒が自ら課題を見つけ、その課題にアプローチし、情報発信・共有する取組めるようにする。 ・外部と連携しながら、体験活動、講演会等の機会を設定し、積極的な取組を促す。 ・進路に関する資料や冊子等を、精選した上で配布し、進路意識の醸成を図れるよう活用する。 ・オープンキャンパスやオンライン大学説明会等の情報についても、精選し発信する。 ・進路に対する、様々なトピックを発信することで進路意識の醸成を図る。	生徒アンケート			進路学習指導
				進路指導計画を作成し、生徒・保護者が充足した進路指導を教員間で連携しながら行うことができたか。	・伊那北高等学校としての進路指導方針について、教員間で共有し、生徒・保護者への丁寧な説明を行う。 ・生徒・保護者との連携を深め、生徒が自己の進路志望を明確に持てるように支援する。 ・第一志望の進路実現に向けての計画を練り、実現できるように促す。 ・定期考査や外部模試、共通テスト等の結果を分析と課題の共有を行い、授業や補習の機会を通じて生徒に還元する。 ・大学入試にまつわる様々なデータを教員間で収集・共有し、進路通信や三者面談を通じて生徒・保護者へ適切に伝える。	成保生徒満足度アンケート			進路指導
		2	授業改善	・授業評価や学力分析を通して授業改善を行うことができたか。 ・解りやすく学習意欲を高める授業の工夫ができたか。 ・教科内連携、教科間連携による授業の効率化が図れたか。	・校外内に向けて授業を公開するなどの互見授業の場を設定し、授業改善への取り組みを促進する。 ・授業評価の結果得られた課題を明らかにして、改善に活かす。 ・教科指導や受験指導に関する教科内研修や校内研修の充実を図り、教職員全体の指導力向上をはかる。 ・教科を超えて「具体と抽象を往還する力」「事象と事象をつなげる力」「ものごとを論理立てて説明する力」をつけるため、教材や授業の共有を促すとともに、カリキュラム開発を進める。	授業評価			学習指導
		2	家庭学習指導	授業を中心にすえた家庭学習が行える生活習慣を定着させることができたか。	・教科を超えて課題の量や質を検討することで、3年間を見据えた体系的な家庭学習を可能にする。 ・予習復習や課題への取組みについて点検し、個人面談などをとおして適切な指導を行う。 ・学習計画を作成させることで、計画的な学習を促し、家庭学習の充実を図る。	各種調査			学習指導
		2	読書指導	・読書活動を活発にすることができたか。 ・主体的・自発的な学習を支えることができたか。	・読書の楽しさや意義を共有するため、本と情報を提供する。 ・授業・探究学習・課題研究・クラブ活動等との連携を深める。また、探究の手法について関係部署で研究を深める。	用図書貸出数・利			学図書指導
	学校生活に関わる指導	1	生徒の安全管理	関係職員SC・SSW・子ども相談室等の外部機関・家庭が連絡を密にとり、生徒それぞれの状況に応じた適切な対応をとることができたか。	・担任会、学年会、職員会において生徒の情報交換を行い、対応が後手にならないように能動的に生徒のサポートを行う。 ・スクールカウンセラーや外部機関等との連携を図る。 ・職員研修会を通じて、本校の特色に合った関わり方を考え、知識・理解をさらに深める。	見職生員集約研修会での意見			特推進支委員教育
				学校生活における生徒の安全管理について徹底ができたか。	・感染症対策も含め、自他の健康について適切に管理し改善していくようにする。 ・学校行事や生徒会行事を運営する際、感染症や熱中症などの対策と安全面でのアセスメントを徹底し、事前チェックと生徒の指導及び当日の危機対応を行う。 ・交通安全およびSNSの正しい使用や特殊詐欺から身を守る指導を行う。生徒の自覚を促し、保護者の理解と協力を図りながら実施する。 ・安心・安全な学校生活を送ることができているか現状把握を行う。	生徒アンケート			生学校保健
				「エコマネジメント」の目標に基づき、ゴミの減量や校舎内外の美化などを推進することができたか。	・ごみの分別、減量に努める。 ・日常の清掃の徹底と点検を行う。 ・校舎外施設(高志館)の清掃にも努める。 ・校外清掃を行い、地域の美化活動に貢献する。 ・電気・水道使用量の節減に努める。	長野エコマネジメントの把握・清掃			永推進支委員学校衛生担当
	学校運営	地域との連携	3	中学校、地域の方々へ本校の教育活動について理解を深めてもらうことができたか。	・4月、10月に行う土曜授業公開と1月の課題研究発表会を広く一般に公開する。 ・中学生体験入学を実施する。 ・中学校訪問の実施、視察の受け入れ、中学生向け進路講話への対応を丁寧に行う。 ・HPを随時更新し、学校の情報を発信する。 ・生徒・保護者には、必要な情報を適宜一斉メールで配信するとともに、各週のはじめに「薫ヶ丘通信(一週間の予定)」を配信する。	ア来校者への			教務
				2 3	学校ビジョンの検討	・本校の教育目標や3つの方針等について共通理解を図った上で、将来構想検討研修会を開くなどとして、授業内容の洗練について検討し、今後の本校のあり方を模索する。 ・単位制を導入した現2学年の新カリキュラムについて、職員間での情報共有を行い、円滑に実施していくとともにブラッシュアップを図っていく。 ・大学入学共通テストについて情報収集や研究を進め、入試に対応した教育課程の検討を継続する。 ・伊那高校(仮)を見据えた伊那弥生ヶ丘高校とのカリキュラムの統合に向けて、両校で会議や授業見学などの交流を大に行なう。 ・くくり募集を想定した新カリキュラムの開発を行う。	将来像検討研修会での意見集約等		
1 2 3				学校評価	・学校評価システムが機能し、課題が克服されたか。	・学校評議員会、学校関係者評価などを通じて頂いた評価について、改善すべき点等検討を加えフィードバックし、その改善・実現に向け全職員で検討していく。	学校関係者へのアンケート		